

**DOCUMENT PREPARING DEVICE**

**Publication number:** JP9319483

**Publication date:** 1997-12-12

**Inventor:** HOSOKAWA TAKESHI

**Applicant:** TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO; TOSHIBA  
COMPUTER ENG

**Classification:**

**- international:** **G06F3/02; G06F1/16; G06F3/033; G06F3/02;  
G06F1/16; G06F3/033; (IPC1-7): G06F3/02; G06F1/16;  
G06F3/033**

**- european:**

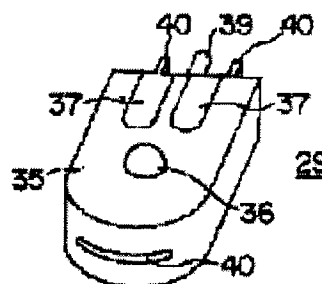
**Application number:** JP19960131771 19960527

**Priority number(s):** JP19960131771 19960527

**Report a data error here**

**Abstract of JP9319483**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a document preparing device with high portability and operability by providing an input device with a freely attachable and detachable double-side mouse device for which a moving device for a cursor and a button device for selecting or instructing any menu are installed on one side and a button device for selecting or instructing any menu is installed on the other side. **SOLUTION:** The double-side mouse device 29 is composed of a semielliptical case 35, a pole type moving device 36 for moving the cursor in X-axis and Y-axis direction and pointers 37 and 37 for selecting and instructing any menu are installed on the upper surface, and the other button device for selecting and instructing any menu is installed on the lower surface. When using a document preparing device while integrating such a double side mouse device 29 into it, the double side mouse device 29 is fitted to a dedicated table while turning the moving device 36 upward. This dedicated table is inserted into the notch of an input device, a terminal 39 of the double side mouse device 29 is connected to a connector, fixers 40 and 40 are fixed to a fixing device, the lock pawls of the dedicated table are engaged with an engager and the dedicated table and the double side mouse device 29 are fixedly held on the input device.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-319483

(43) 公開日 平成9年(1997)12月12日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	3/02	3 1 0	G 0 6 F	3 1 0 K
	1/16		3/033	3 4 0 C
	3/033	3 4 0		3 4 0 A
			1/00	3 1 2 V

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

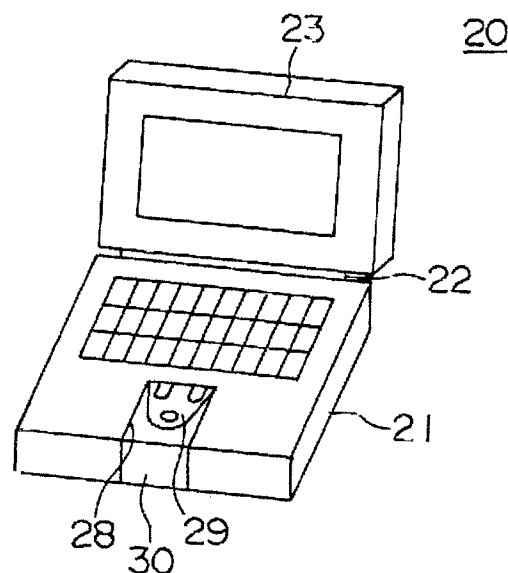
(21) 出願番号	特願平8-131771	(71) 出願人	000003078 株式会社東芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
(22) 出願日	平成8年(1996)5月27日	(71) 出願人	000221052 東芝コンピュータエンジニアリング株式会社 東京都青梅市新町1381番地1
		(72) 発明者	細 川 剛 東京都青梅市新町1381番地1 東芝コンピュータエンジニアリング株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 文書作成装置

(57) 【要約】

【課題】 操作性および携帯性のよい文書作成装置を得るようにしたものである。

【解決手段】 一面にカーソルの移動装置36およびメニューの選択、指示等をするボタン装置37、37を設け、他面にメニューの選択、指示等をするボタン装置38、38を設けた両面マウス装置29を入力装置21に着脱自在に備えたものである。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】一面にカーソルの移動装置およびメニューの選択、指示等をするボタン装置を設け、他面にメニューの選択、指示等をするボタン装置を設けた両面マウス装置を入力装置に着脱自在に備えたことを特徴とする文書作成装置。

【請求項2】両面マウス装置を一面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルをX軸方向、Y軸方向に移動させ、他面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルを反X軸方向、Y軸方向に移動させるカーソル駆動装置を設けたことを特徴とする請求項1に記載の文書作成装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】この発明は文書作成装置に係り、特に、両面マウス装置を入力装置に着脱自在に備えた文書作成装置に関する。

**【0002】**

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】一般に文書作成装置、例えば、パーソナルコンピュータ（以下「PC」と言う）にはマウス装置が備えられている。

【0003】このマウス装置は表示装置に表示されるカーソルを移動させる移動装置と表示装置に表示されるメニューを選択したり指示等をするボタン装置とを備えている。

【0004】このマウス装置は図9に示すように固定タイプのマウス装置Aと図10に示すように可動タイプのマウス装置Bとがある。

【0005】固定タイプのマウス装置AはPC10の入力装置11に移動装置12とボタン装置13とを一体に組込み、表示装置14に表示されるカーソルCを上下左右に移動させるとともにメニューを選択したり指示等をするタイプである。

【0006】これに対して、可動タイプのマウス装置Bは入力装置11とは別に移動装置（図示せず）とボタン装置13とを一体にしてケース15に収容し、これを接続ケーブル16により入力装置11のポートに接続し、表示装置14に表示されるカーソルCを上下左右に移動させるとともにメニューを選択したり指示等をするものである。

【0007】しかし、固定タイプのマウス装置Aは移動装置12を入力装置11に組み込んでいるため、スペースをとらず携帯性も良い反面、移動装置12を指先で操作しなければならないので操作性が悪いと言う問題があった。

【0008】また、可動タイプのマウス装置Bは入力装置11とは分離して使用者の手のひらの中で操作されるため操作性が良くなる反面PC10を移動する時等には携帯性が悪くなるという問題があった。

【0009】そこで本発明は操作性および携帯性の優れ

た両面マウス装置を備えた文書作成装置を提供することを目的とするものである。

**【0010】**

【課題を解決するための手段】本発明は一面にカーソルの移動装置およびメニューの選択、指示等をするボタン装置を設け、他面にメニューの選択、指示等をするボタン装置を設けた両面マウス装置を入力装置に着脱自在に備えたことを特徴とする文書作成装置を提供するものである。

【0011】また、本発明は両面マウス装置を一面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルをX軸方向、Y軸方向に移動させ、他面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルを反X軸方向、Y軸方向に移動させるカーソル駆動装置を設けたことを特徴とする文書作成装置を提供するものである。

**【0012】**

【発明の実施の形態】以下、本発明の文書作成装置の実施の形態を添付図面について説明する。

【0013】本発明の文書作成装置20には図1、図2に示すように制御装置を有する入力装置21が備えられ、入力データを制御処理するようになっている。

【0014】この入力装置21には回動支持装置22を介して液晶等の表示装置23が取り付けられ、入力装置21等により入力される入力データを表示するようになっている。

【0015】この入力装置21の前面には図3に示すように前後方向に延びるレール24、24（一方のレール24のみ図示）、制御装置の接続装置25、固定装置26、26および係合装置27を備えた切欠28が開けられ、これに両面マウス装置29を取り付けた専用台30が組込まれるようになっている。

【0016】専用台30は図5、図6に示すように矩形のケース31により構成され、これにU字状受部32が設けられている。この専用台30の両側面には前後方向に延びる溝33、33（一方の溝33のみ図示）が設けられ、入力装置21のレール24、24に嵌合するようになっている。

【0017】また、この専用台30の先端分には爪34が設けられ、入力装置21の係合装置27に係合されるようになっている。

【0018】両面マウス装置29は半楕円形のケース35により構成され、図4に示すように上面にはカーソルをX軸方向、Y軸方向に移動させるボールタイプの移動装置36、メニューを選択、指示するボタン装置37、37が設けられ、図7に示すように下面にはメニューを選択、指示する他のボタン装置38、38が設けられている。

【0019】この両面マウス装置29の水平側面には接続装置25、固定装置26、26に挿入される端子39および固定具40、40が取り付けられ、制御装置に電

氣的に接続するとともに入力装置21に固定支持するようになっている。

【0020】また、この両面マウス装置29の半楕円形側面にはカーソル駆動装置41のX軸方向およびY軸方向の移動を制御するとともに上面のボタン装置37、37または下面のボタン装置38、38を切り換えるカーソル・ボタン切換装置42が設けられ、カーソルを移動装置36の移動に対応させて移動させるとともにボタン装置37、37またはボタン装置38、38が相互に干渉しないでメニューを選択、指示するようになっている。

【0021】このように構成した両面マウス装置29を文書作成装置20に組込んで使用する場合には図1、図4に示すように両面マウス装置29の移動装置36を上面にして専用台30に取り付ける。この専用台30を入力装置21の切欠28に挿入し両面マウス装置29の端子39を接続装置25に接続し、固定具40、40を固定装置26、26に固定し、専用台30の係爪34に係合装置27に係合し専用台30および両面マウス装置29を入力装置21に固定支持する。

【0022】このようにしてから両面マウス装置29の移動装置36、ボタン装置37、37を操作してデータ等を入力処理する。

【0023】また、両面マウス装置29を文書作成装置20から分離して使用する場合には図2、図7に示すように両面マウス装置29を専用台30から切り離し移動装置36を下面にして配置する。この両面マウス装置29の端子39と入力装置21の接続装置25とを接続ケーブル43により接続する。

【0024】また、カーソル・ボタン切換装置42を切換えカーソル駆動装置41のカーソルの移動を常に両面マウス装置29の移動に対応するように反X軸方向およびY軸方向の移動にするとともにボタン装置38、38も切換える。

【0025】このようにしてから両面マウス装置29を移動操作すると両面マウス装置29の移動に対応して表示装置23のカーソルを移動させるとともにデータ等の指示、選択等をボタン装置38、38の操作により処理する。

【0026】そのため文書作成装置の両面マウス装置は携帯時には入力装置に取り付けたまま使用したり移動することができるとともに広い机に文書作成装置20を配置したような場合には両面マウス装置29を入力装置から分離して使用することができる。

【0027】それゆえ、両面マウス装置を入力装置の切欠に組込んだり取り外したりして使用できるから携帯性および操作性の良い文書作成装置を得ることができる。

【0028】

【発明の効果】本発明は一面にカーソルの移動装置およびメニューの選択、指示等をするボタン装置を設け、他

面にメニューの選択、指示等をするボタン装置を設けた両面マウス装置を入力装置に着脱自在に備えたから携帯性および操作性の良い文書作成装置を得ることができる。

【0029】また、本発明は両面マウス装置を一面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルをX軸方向、Y軸方向に移動させ、他面で使用するときは移動装置の移動に対応してカーソルを反X軸方向、Y軸方向に移動させるカーソル駆動装置を設けたから両面マウス装置を分離し反転して使用しても通常の状態により文書作成装置を使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の文書作成装置の1の使用例を示す斜視図。

【図2】本発明の文書作成装置の他の使用例を示す斜視図。

【図3】図1、図2の文書作成装置の一部を拡大して示す説明図。

【図4】両面マウス装置の一面を使用する場合を示す斜視図。

【図5】専用台の概要を示す斜視図。

【図6】専用台の他の概要を示す斜視図。

【図7】両面マウス装置の他面を使用する場合を示す斜視図。

【図8】カーソル・ボタン切換装置の概要を示すブロック線図。

【図9】従来の文書作成装置の概要を示す斜視図。

【図10】従来の文書作成装置の他の概要を示す斜視図。

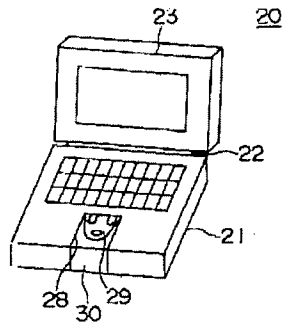
【符号の説明】

- 10、20 文書作成装置
- 11、21 入力装置
- 12、36 移動装置
- 13、37、38 ボタン装置
- 14、23 表示装置
- 15 ケース
- 16 接続ケーブル
- 22 回動支持装置
- 24 レール
- 25 接続装置
- 26 固定装置
- 27 係合装置
- 28 切欠
- 29 両面マウス装置
- 30 専用台
- 31 矩形のケース
- 32 U字状受部
- 33 溝
- 34 爪
- 35 ケース

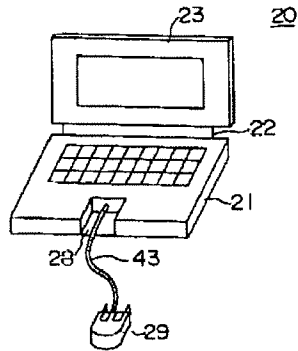
39 端子  
40 固定具  
41 カーソル駆動装置

42 カーソル・ボタン切換装置  
43 接続ケーブル

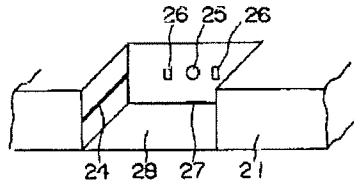
【図1】



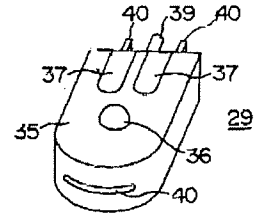
【図2】



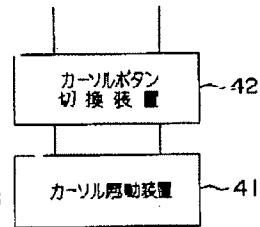
【図3】



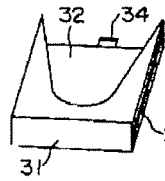
【図4】



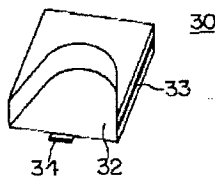
【図8】



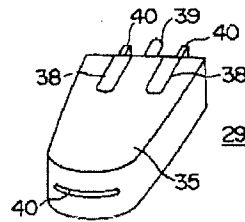
【図5】



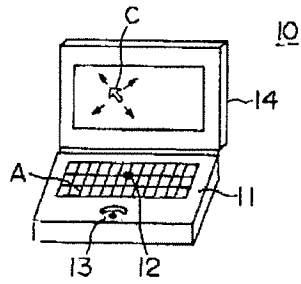
【図6】



【図7】



【図9】



【図10】

